

平成29年度 木材利用推進全国会議 ― 宣言 ―
～ 木材利用推進に向けた新たな展開 ～

木材の利用は、人々の暮らし、農山村地域の振興、地球環境の保全等に大きく貢献するものであり、林業の成長産業化を促進していく観点からも、その拡大を進めていくことが重要である。

新国立競技場をはじめとする東京オリンピック・パラリンピック2020における積極的な木材利用等、国・地方自治体の多様な施策に加え、多くの関係者の永年の努力が結実し、国民の木材利用への関心は、年々着実に高まっている。

このような中で、我々は、広範な国民の理解と支援を得つつ、住宅、公共施設等はもとより、市街地のビルや商工業施設、駅舎やバス停などから身の回り用品に至るまで、あらゆる場面での木材利用が一層促進されるよう、次の事項を重点として、中央、地方が一丸となった新たな次元での活動を展開していくこととする。

- 1 住まい・商工業施設・公共建築物等への木材利用の重点的促進
- 2 農林水産業や道路等の公共土木工事における木材利用の加速化
- 3 東京オリンピック・パラリンピック関連施設への木材活用の促進
- 4 間伐材製品や木質バイオマスエネルギー利用等の一層の展開
- 5 新たな木材利用分野の拡大のための木材新製品や生産及び利用に係る技術開発等の加速化
- 6 JAS、合法性証明等、安全・安心の木材・木製品の供給・利用の一層の促進
- 7 需要者・消費者、行政関係機関等との密接な連携による木材利用推進運動の積極的展開

平成29年7月31日
木材利用推進・全国会議